

大山田第3中継ポンプ場の状況

11月臨時会議での災害復旧工事に係る下水道事業会計補正予算の専決の報告ですが、現場を見ないと被害の状況など分かりませんので、現場を視察して来ました。



大山田第3中継ポンプ場は、上の地図・写真で見ると、低い場所にあり浸水しやすい環境にありました。

説明では、大山田排水区の雨水排水計画では、10年確率で降水量は66.0mm(60分確率)110.5mm(10分確率)でしたが、7月25日当日16:00~17:00 83.0mm/60分 17:00~18:00 66.0mm/60分と排水許容能力をオーバーしてしまいました。



当日の浸水した高さです。(1.37m浸水)

正面のシャッター部分は10年前の対策で防水壁あり

今回はこの作業員が入るところから浸水したそうです。

水圧でサッシ部分が外れ浸水(小さい扉に変更されました)



自家発電設備・電源装置・汚水ポンプ盤・配電盤・コントロールセンタはほとんど水没しているのが確認できました。

コントロールユニット等取り出されていました。

外の配電BOXが助かっていましたので直接配線して仮設で制御しております。汚水ポンプ設備は現在、汚水ポンプ2号のみで対応しています。



人の出入りする扉を水圧の力で壊してポンプ室を浸水させたのですが、自然の中では想定内です。浸水高さ限界も分かったようなので、減災対策を願う。